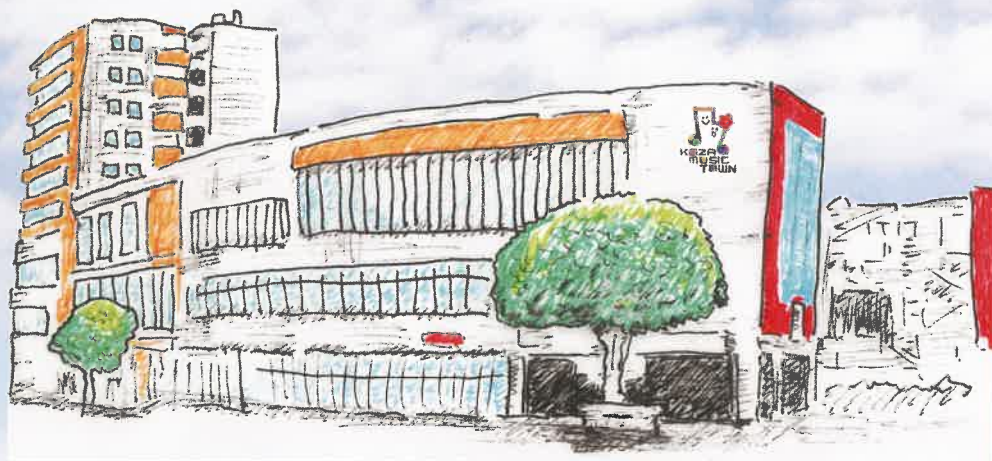


住みたい・訪れたい 魅力あふれるコザのまち

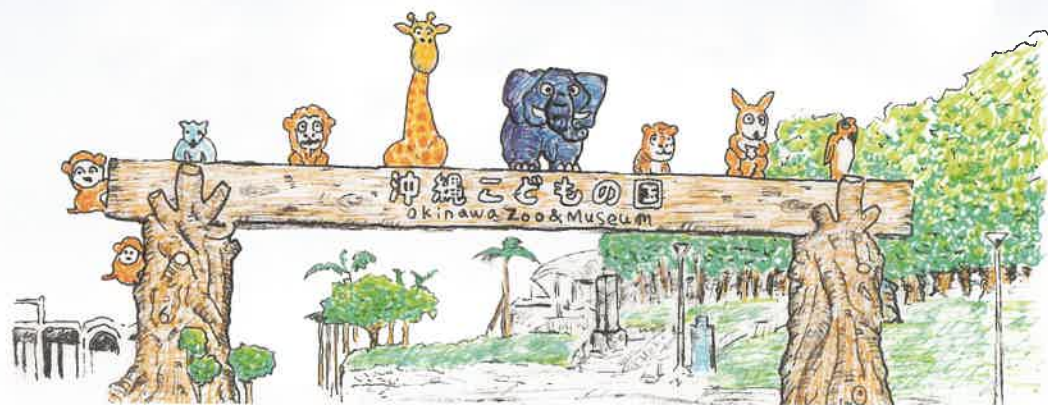
～来街者・居住者が集う持続可能な交流街へ～



沖縄市は、戦後、基地の門前町として、アメリカをはじめとした諸外国の影響を強く受け、独自の発展を遂げてきました。しかしながら、近年の商環境の変化や消費者ニーズの多様化により、中心市街地の活力低下が指摘されています。

そうした状況の中、中心市街地のにぎわいと快適な生活空間の創出を目的に、「沖縄市中心市街地活性化基本計画」を策定し平成22年3月に前期計画、平成28年3月に現計画の内閣総理大臣認定を受けました。

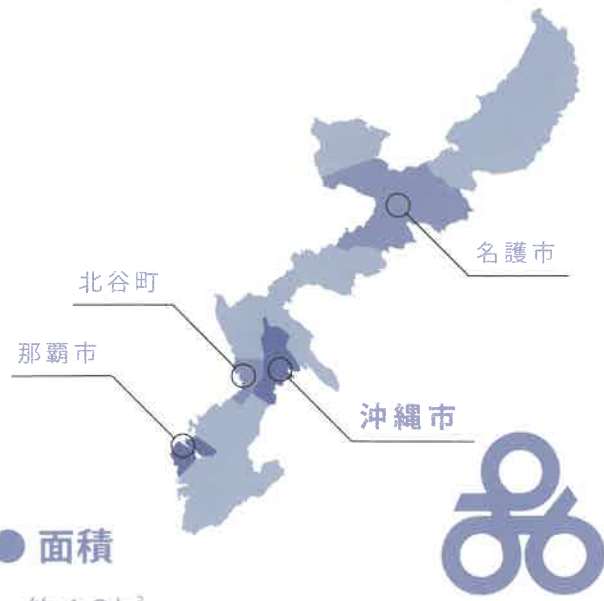
「住みたい・訪れたい魅力あふれるコザのまち」～来街者・居住者が集う持続可能な交流街へ～を活性化のテーマに音楽、芸能など、豊富な地域資源を積極的に活用し、商業の活性化をはじめ、住環境と都市機能の向上により、暮らしやすく、にぎわいのあるまちづくりを目指します。



沖縄市中心市街地活性化基本計画(概要版)

平成28年4月～平成33年3月

沖縄市の概要



● 面積

- ・約49km²
- ・基地面積(平成27年3月末)1,689.6ha(約34.0%)

● 人口

- ・沖縄市全体:138,663人
うち中心市街地:19,229人(約13.9%)
(住民基本台帳平成26年4月1日現在)
- ・15歳未満の人口割合:約19.2%
(平成22年国勢調査)
- ・65歳以上の人口割合:約15.5%
(平成22年国勢調査)

- ・生活圏人口
中部広域市町村圏3市3町3村:486,844人
【沖縄市、宜野湾市、うるま市、北谷町、嘉手納町、西原町、読谷村、北中城村、中城村】
(平成22年国勢調査)

● 産業

産業別就業者数

区分	就業者数	構成比
第1次	605人	1.2%
第2次	7,483人	14.9%
第3次	36,309人	72.2%
合計	50,271人	100.0%

(平成22年国勢調査)

- ・売場面積
沖縄市全体:89,209m²
うち中心市街地:22,491m²(25.2%)
(平成26年商業統計)

平成22年度～平成27年度 前基本計画の6年間で合計82事業の取組 (完了事業33、継続事業47、未実施2)

【実施した主な事業】

胡屋地区商店街商業環境整備事業

アーケードの一部改修等を実施し、商環境を向上させ商店街の活性化を図りました。



その他

- 社会福祉センター・男女共同参画センター
- 中心市街地情報発信支援事業
- 中心市街地循環バス事業
- 駐車場利用促進事業 etc

コザ運動公園体育館施設整備事業

公園内の体育施設の整備を行い、都市福利施設が改善され居住環境の充実に図りました。



- 整備事業
- 胡屋地区リノベーション事業
- 中心市街地就労支援事業
- 中心市街地循環バス事業
- 駐車場利用促進事業 etc

前計画の目標と実績

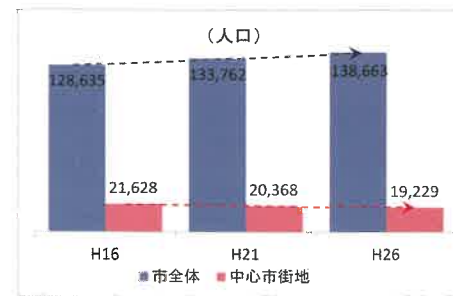
指標	歩行者通行量(休日)	都市福利施設の年間利用者数
基準値(H21)	5,964人/日	907,457人/年(H20)
目標値(H27)	6,302人/日	1,021,057人/年
最新値(H27)	8,440人/日	1,219,777人/年

計画事業の実施により目標数値を達成しましたが、まだまだ活性化に向けた取り組みが必要です。

中心市街地の現状

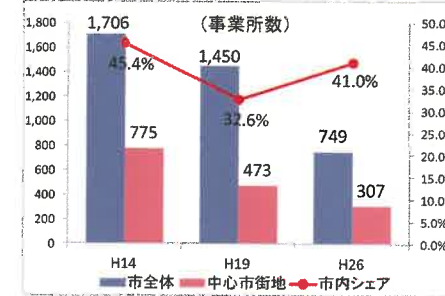
○中心市街地の人口減少

沖縄市の人口は増加している一方で、中心市街地は減少傾向にあります。平成26年の人口は平成16年度比で2,399人減少しています。



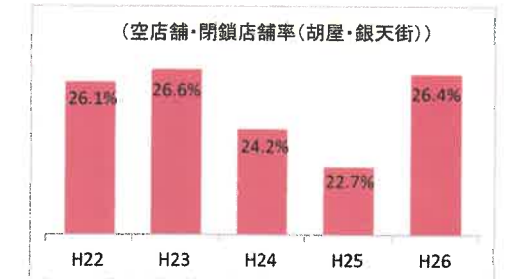
○中心市街地の商業機能の状況

事業所数について、市全体に比べ減少割合は少なく、市内シェアは持ち直していますが、依然減少傾向が伺えます。近隣自治体に進出した大型商業施設の影響も懸念されています。



○空き店舗数の推移

増加傾向にあった中心商店街における空き店舗数は、前計画の取組等もあり、一旦持ち直しつつありましたが、一進一退の状態となっています。



市民意向

○中心市街地のイメージ

「空き店舗が増えて人通りが少ない」という印象が多い一方で、コザ運動公園や沖縄こどもの国等の賑わいの向上や、循環バスにより利便性が向上したとの意見もありました。

○居住に対するイメージ

約5割の方が中心市街地に「住みたくない」と回答しており、前計画の取組により若干の好転は伺えますが、依然として居住傾向が低いままとなっています。

○活性化に対する要望

約7割の市民が中心市街地活性化対策の継続性を感じており、「魅力ある店舗及び商業空間の創出」や「空き店舗の更新・活用」等、商店街等の機能強化に引き続き取り組んでいくことが望まれています。

中心市街地の課題

中心市街地の活性化に向けて次のような課題に取り組む必要があります。

1 滞留や交流の促進

- 来街者を回遊させる仕組みの強化
- 魅力ある個店づくり及び商店街の組織力強化
- 地域資源を活用した交流機会の充実
- 更なる賑わいの拡大
- 交通利便性の強化

2 居住人口の定着及び増加

- まちなか居住の推進
- 面整備の取組強化
- 住む人目線の都市機能の充実

3 持続可能な取組の継続

- 市民の理解・参加の拡大
- 取組体制の強化
- 実施主体等の連携強化
- 民間活力の活用促進

コザの歴史的、文化的資源等の既存ストックを活かし、商業・観光・スポーツ・雇用・教育等の更なる複合的な交流街への機能転換を促進させることにより、下記のテーマを目指します。

テーマ

『住みたい・訪れたい魅力あふれるコザのまち』 ~来街者・居住者が集う持続可能な交流街へ~

中心市街地
活性化の
テーマ

住みたい・訪れたい 魅力あふれるコザのまち

～来街者・居住者が集う持続可能な交流街へ～



商業空間だけでなく、多面的な都市機能の向上に取り組むとともに、コザ文化が凝縮したまちそのものの雰囲気である地域資源を積極的に活かし、生活、文化創造の中心、人々の盛んな交流が生まれる中心市街地を目指します。

○計画期間……平成28年4月～平成33年3月

○計画区域……コザ十字路地域、胡屋十字路地域、山里地域を基本に、集客施設である、コザ運動公園、沖縄こどもの国、沖縄市民会館等を含む約239ha

基本方針1 コザ文化の魅力を活かしたにぎわいづくり

国際色豊かな街並みやエイサー・音楽をはじめとする魅力的な地域資源(コザ文化)を積極的に活用します。



既存施設や新たに整備される観光施設などを最大限活用し、積極的なイベント展開や情報発信を進め、市民や来街者によるにぎわいの拡大を目指します。



商業地域と周辺の集客拠点施設との連携をより一層重視し、集客された人々の回遊性の創出などによる相乗的・波及的な効果の発現を目指します。



基本方針2 住む人目線で良好な生活ができるまちづくり

中心市街地には、公共施設や医療・福祉などの都市機能が集積しており、回遊性を高めながら、これらの利用促進を図り、利便性の高い市街化を目指します。



多様な市民ニーズをサポートする機能を充実させ、多面的な都市機能により、街の付加価値の向上による生活環境の改善に取り組みます。



街の魅力を強化させることで、住む人にとって利便性の向上につながる良好な生活空間の創出へと繋がります。



目標1 まちなか交流の促進によるにぎわいの創造

交流人口拡大 / 魅力ある商業空間創出 / 回遊性向上による波及効果創出

関連事業

- (仮称)青年エイサー会館整備事業
- 多目的アリーナ整備事業
- 沖縄こどもの国整備事業
- エイサーのまち推進事業
- 音のページェント事業
- 商店街再生チャレンジショップ事業
- 音楽によるまちづくり事業
- 中心市街地循環バス事業

成果目標	休日における歩行者通行量	観光関連施設の入込客数
現状(H26年)	8,866人/日	448,961人/年
目標値(H32年)	9,380人/日	683,207人/年

目標2 中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善

まちの付加価値向上 / まちなか居住促進 / 良好な生活空間創出

関連事業

- 山里第一地区第一種市街地再開発事業
- 図書館整備推進事業
- 安慶田地区土地区画整理事業
- (仮称)雇用促進施設等整備事業
- 安慶田市営住宅建替え事業
- ファミリーサポートセンター運営事業
- 中心市街地定住促進事業

成果目標	都市福利施設の年間利用者数	居住人口の増減率※
現状(H26年)	829,808人/年	▲5.6%
目標値(H32年)	867,308人/年	▲4.4%

※過去5年間の増減率

上記の方針をもとに 基本計画掲載総事業 78 事業を推進。(うち) 認定事業 ※34事業、民間等事業25事業 (H28年3月15日現在)

※認定事業とは、基本計画の認定を受けることにより国の重点的な支援がある事業である。

中心市街地活性化主要事業計画図

多目的アリーナ整備事業

観光客施設として、大規模な多目的アリーナを建設することにより、まちなかへの効果的なにぎわい創出へと繋がります。



図書館建設推進事業

図書館の移転、増床整備と同時に、図書システムの導入事業を実施。都市福祉施設としての充実を図り、利用者の利便性向上を図ります。

山里第一地区市街地再開発事業

地域における生活拠点の核づくりを目指し、住宅棟、商業棟など生活利便性ならびに公益性の高い施設を整備することにより、街なか住居の推進及びにぎわいを創出します。



プラザハウス
ショッピングセンター

中の町地区土地 区画整理事業

(仮称)青年エイサー 会館整備事業

文化遺産である「エイサー」が鑑賞できる演舞場、体験施設等をミュージックタウン内に整備。観光拠点として展開することにより、にぎわいの創出へと繋がります。

沖縄こどもの国整備事業

日本一ユニークな施設として整備拡充し観光客の拡大を図るとともに、まちなかへの効果的なにぎわいの創出へと繋がります。

(仮称)雇用促進施設等整備事業

(仮称)3・4・沖3号線センター 中央通り線相互通行化事業

(仮)国道330号線沿線土地 利用計画策定業務事業

安慶田地区土地区画整理事業

商業地に隣接する老朽密集住宅地において、安全・安心な住環境を形成し、まちなか居住の促進を図ります。



沖縄市中心市街地循環バス事業

中心市街地内における拠点施設間を結ぶ交通機能として運行し、中心市街地への回遊性を高めます。



凡例

- 中心市街地区域
- 面積 約 239ha
- 事業展開予定箇所
- 商業機能集積地域

0 100m 500m



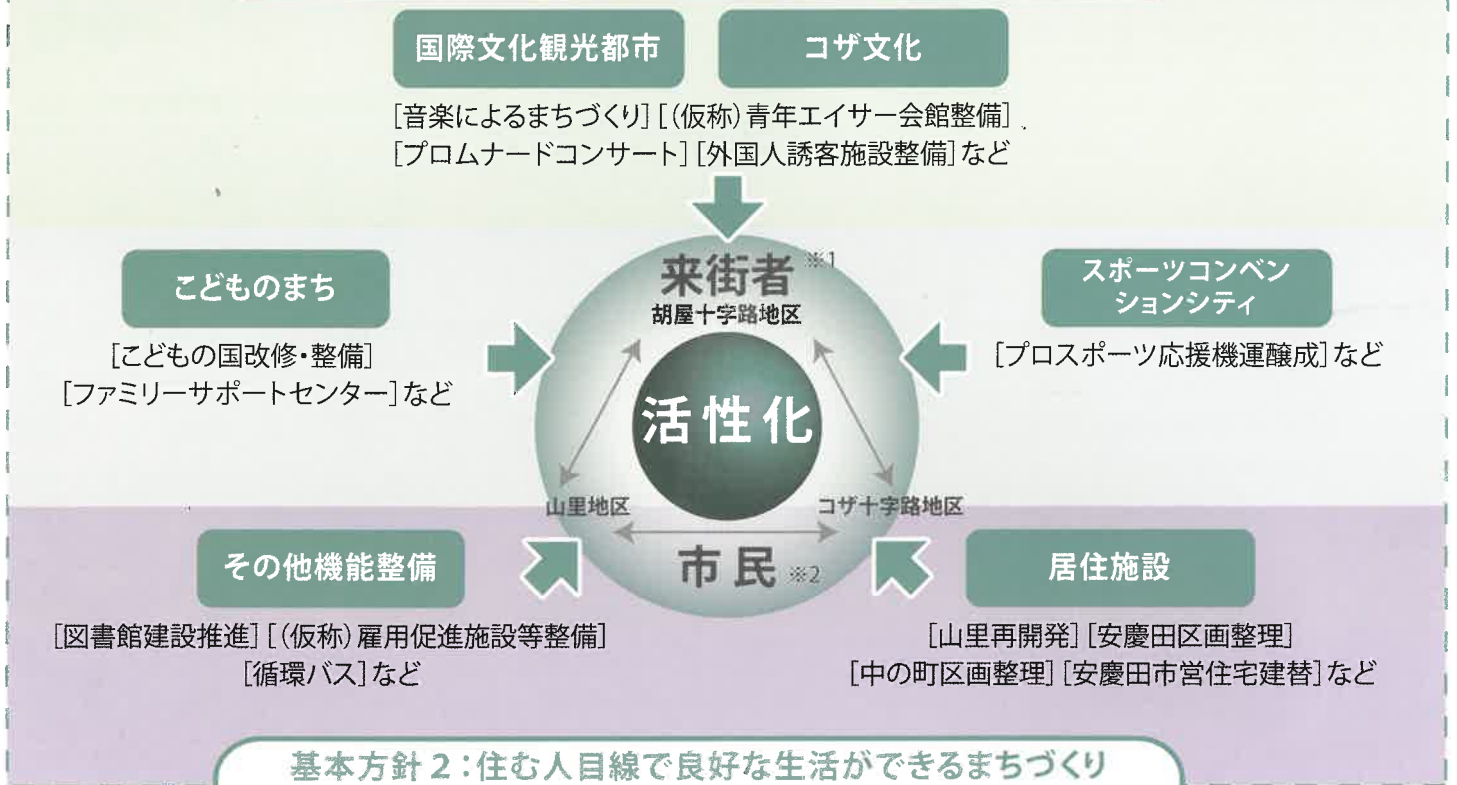
その他の主な事業

- * 創業・起業総合支援事業
- * 胡屋地区リノベーション事業
～外国人誘客施設整備事業～
- * 中心市街地就労支援事業
(ファミリーサポートジョブカフェ)
- * 商店街交流促進事業 (コザBOX)
- * コザ工芸館事業 (ふんどう)
- * 沖縄市戦後文化資料等展示事業
(ヒストリート)
- * 商店街賑わい創出事業
- * 商店街再生チャレンジショップ事業
- * 店舗リフォーム支援事業
- * プロスポーツ応援機運醸成事業
- * 中心商店街駐車場利用促進事業
- * 音楽によるまちづくり事業
- * プロムナードコンサート事業
- * エイサーのまち推進事業
- * コザまちゼミ事業
- * 越来城下町まつり
- * 中心市街地定住促進事業
- * 安慶田市営住宅建替事業
- * 音の回廊事業

中心市街地活性化の概念図

基本方針 1：コザ文化の魅力を活かしたにぎわいづくり

～豊かな地域資源と連動した訪れたいと思える魅力の強化～



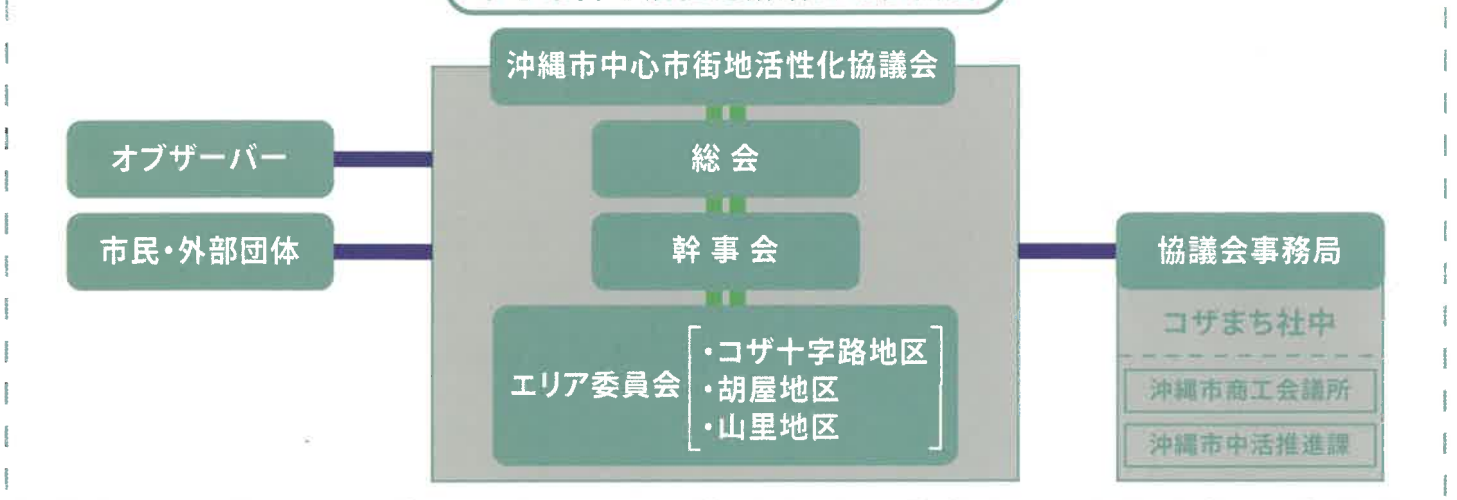
基本方針 2：住む人目線で良好な生活ができるまちづくり

～まちの付加価値の向上と住みたいと思える環境づくり～

※1 来街者：市民や県民を中心としつつ、本土の観光客も含めた中心市街地を訪れる人々を指す。

※2 市民：中心市街地居住者を中心とする沖縄市民を指す。

中心市街地活性化協議会の組織図



沖縄市役所 経済文化部 中心市街地活性化推進課

〒904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町26番1号 TEL 098-939-1212 (内線:3211)

沖縄市役所ホームページ <http://www.city.okinawa.okinawa.jp>

E-mail: activea54@city.okinawa.okinawa.jp

沖縄市中心市街地活性化協議会 (事務局: 特定非営利活動法人まちづくりNPOコザまち社中)

〒904-0004 沖縄県沖縄市中央1-3-17 TEL 098-989-0905

沖縄市中心市街地活性化協議会ホームページ <http://chukatsu.com>